

前回いただいた主なご意見及び対応

委員名	ご意見	対応
中根義信 委員	6%の根拠がわかりにくい。国は3.8%と言っているが、森林吸収を除くと1%で、差は5%もある。対策の内訳が不明な状況で、兵庫県だけ過大な負担を強いられるのではないかと不安を感じている。	資料編 p46 の対策内訳表の注釈に以下の内容を追記。 「国の削減目標 2005 年度比 3.8%（森林吸収 2.8%を含む）と県の削減目標 6%の相違は、算定に用いた2012年度の電力排出係数（国 0.571、県 0.514）の差や県独自対策の積み上げ等によるものである。」
山村充 委員	p13 の削減量の表がいつ時点のものかわからない。	表 10 のタイトルを以下のように修正。 「国及び県対策によるすう勢ケースからの削減量（2020 年度）」
真田由美子 委員	p27 のうちエコ診断については、県が予算組みをしてでもすべきものである。自立的運営が先に来るのはおかしい。	支援制度構築を先に、自立的運営を後に記載。
	p28 のうちエコキッズについては、関係機関と連携して進めていくべき。	文章に「関係機関と連携し」ていく旨を追記。